

# 平成27年度 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、平成27年4月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成28年3月

教育委員会事務部長 友永英宣

## 1 総括

- 1 子ども達が、安全で安心して学び活動できる教育環境の整備に努め、中央中学校屋内運動場の耐震補強工事および豊小学校を除く14小・中学校の屋内運動場や武道館等の大規模空間の非構造部材の耐震化、吊天井等の撤去を実施しました。この結果、全小中学校の耐震化率は100%となりました。
- 2 地域を学び、生きる力を育むふるさと教育の推進に努めました。地域の歴史を知り、文化・自然に親しむことで郷土愛を育むとともに、産業体験や職場体験、眼鏡デザイン実習、ものづくり博覧会参加等を通して、本市産業の理解を深め、ふるさと鯖江を発展させようとする意欲や態度の育成に努めました。
- 3 食育を基盤とした、確かな学力、豊かな心、たくましい体を育む学校教育の推進に努めました。確認テストや新聞の活用とともに、ICTを積極的に活用した授業を推進して学力向上に努めるとともに、外部講師派遣による児童生徒の体力向上にも努めました。
- 4 幼児期の子どもたちが心も体も元気で健やかに育つために、遊びを通して、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の基礎を培いつつ、健康な体づくりに努めました。特に、異年齢集団での活動を通して自立心を芽生えさせたり、小学校への円滑な移行を図るために幼稚園と小学校の交流事業の充実に努め、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みました。
- 5 青年層を含め多くの地域住民が各種地域の事業等に参加し、子ども達と交流したことにより、地域の教育力向上と青年活動の推進につながりました。
- 6 生涯学習によって高齢者が仲間づくりの輪を広げながら、ともに学び、ともに生きる喜びを分かち合い、健康長寿と社会貢献に取り組み、地域社会活動の充実に取り組みました。
- 7 鯖江市美術展や「久里洋二企画展アニメーション王国さばえ」等の開催により、市民が身近に芸術文化に触れることができる機会を提供しました。また、今北山・磯部・弁財天古墳群の発掘調査を進めるとともに現場説明会等で保存・活用についても意見交換会を実施しました。また、キッズ版ふるさとさばえ検定等を初めて実施する等ふるさと学習の推進にも努めました。
- 8 誰もが、安全・安心してスポーツに取り組めるよう、市陸上競技場を改修したほか、市総合体育館の耐震補強工事に着手するなど、スポーツ環境の整備に取り組みました。また平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会を成功に導くため、鯖江市実行委員会を設立し、組織の中に、各関係機関・市民団体等と連携して専門委員会を立ち上げ、本番に向けた準備に取り組みました。
- 9 文化の館では、様々な分野から書籍等を購入し図書資料の充実に取り組みました。また、図書検索アプリ「さばとマップ」のサービスをはじめ、読書困難者の方への拡大読書器、音声データなどを提供する「サピエ」に加入するなど、利用者の利便性を推進しました。

## 2 課題

- 1 学校施設整備関係の国庫補助採択が年々厳しくなっており、今後の事業費の確保にあたっては個別の事業ごとに単独事業の施工、事業実施時期などの検討が必要になってきています。
- 2 鯖江市が世界に誇る産業への理解を深めるものづくり教育を推進しながら、郷土への誇りと愛着を育むふるさと教育を充実させる必要があります。また、ITのまち鯖江にふさわしく、ICT機器を活用した教育の取り組みやプログラミングの基礎を学ぶ活動など、ICT教育を推進していく必要があります。
- 3 子どもたちの健康な生活の基本である食育について、保護者の理解を深め、朝食摂取率の向上を一層図るとともに、食の安全の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材に感謝の念を育むために、地場産野菜等の使用率の向上に努めていく必要があります。
- 4 幼児期の育ちや学びが小学校以降の教育の土台となります。幼児期の教育が小学校の教育へスムーズに移行できるよう、保幼小接続カリキュラムの全園での普及に努めていく必要があります。
- 5 公民館や体育館等の社会教育施設は、老朽化した施設が多く、また、耐震補強改修が必要な施設もあるため、今後これらの社会教育施設等の安全安心および機能充実、長寿命化を図る必要があります。
- 6 北陸新幹線の敦賀までの開業が3年前倒しになる中で、新幹線工事に伴う付帯工事用地の発掘調査や今北山・磯部・弁財天古墳群の公有化や整備工事の実施、また、兜山古墳の公有化に伴う整備工事の実施など、多くの埋蔵文化財関係の事務を的確に行う必要があります。
- 7 平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会開催に備え、平成28年度実施予定の体操競技プレ大会などから課題を洗い出し着実な準備を進めていくとともに、広く市民への周知活動を行い、多くの市民の協力を得ながら大会の準備を進めていく必要があります。
- 8 市民の図書館として、多様化するニーズに応えることが求められています。市民のニーズを的確に捉え、さらに利便性の推進を図る必要があります。乳幼児から高齢者まで各層の市民が豊かな心を育くむ知の拠点として図書館の利用率の向上と、文化の館交流広場の活用を図る必要があります。

### 3 重点的に進める項目の取組結果

＜取組項目＞	＜取組結果＞
<p><b>1. 施設の計画的整備</b></p> <p>小中学校や幼稚園の学校施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化を図ります。また、中央中学校屋内運動場の耐震補強工事および小中学校の吊り天井等の非構造部材の耐震化工事を施工し、安全な教育環境整備を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中学校の耐震化率 60棟/60棟 100%</li> <li>◆ 小中学校の非構造部材の耐震補強工事の施工 14小中学校/14小中学校 100%</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>中央中学校屋内運動場の耐震補強工事が12月に完了し、市内全小中学校の耐震化が終了しました。また、吊天井等の非構造部材の耐震化についても、対象となった14小中学校の屋内運動場・武道場等で吊天井等の撤去、その他の非構造部材の耐震化工事が完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中学校の耐震化率 60棟/60棟 100% [A]</li> <li>◆ 小中学校の非構造部材の耐震補強工事の施工 14小中学校/14小中学校 100% [A]</li> </ul>
<p><b>2-1. ものづくりを核としたふるさと教育の推進</b></p> <p>ものづくり体験等を通して地場産業の魅力を理解し、ふるさとに愛着を持てるよう、専門家の講演会開催とともに、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習などに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>【新】</b>ものづくりや歴史文化などふるさと理解のためのゲストティーチャーによる講演会・体験活動の実施 全小中学校で2回</li> <li>◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童を対象に1回</li> <li>◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 全中学校の生徒を対象に1回</li> <li>◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>ものづくり体験等を通して鯖江の産業の魅力を理解し、ふるさとに愛着を持てるよう、専門家による講演会等を開催しました。また、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習などに取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>【新】</b>ものづくりや歴史文化などふるさと理解のためのゲストティーチャーによる講演会・体験活動の実施 全小中学校で2回 [A]</li> <li>◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童を対象に1回 [A]</li> <li>◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 中央・東陽中学校の1学年の全生徒を対象に1回 [C]</li> <li>◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施 [A]</li> </ul>
<p><b>2-2. ふるさと学習の推進</b></p> <p>先人から受け継いだ地域の歴史や文化を学び、また体験することにより、ふるさとへの愛着と誇りを持てるようふるさと学習に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>【新】</b>地域でのふるさと学習事業の開催数 10回 (地区公民館)</li> <li>◆ <b>【新】</b>ふるさと学習の参加者数 800人 (芸術文化体験事業、ふるさとさばえ検定、ふるさとさばえキッズ検定、近松入門講座、間部詮勝シンポジウム等)</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>地域の歴史や文化を学び、また体験することにより、ふるさとへの愛着と誇りを持てるようふるさと学習に取り組みました。特に、小中学生対象の各種講座を重点的に実施し多数の参加者を得ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>【新】</b>地域でのふるさと学習事業の開催数 19回 [A] (地区公民館)</li> <li>◆ <b>【新】</b>ふるさと学習の参加者数 1,033人 [A] (芸術文化体験事業、ふるさとさばえ検定、ふるさとさばえキッズ検定、近松入門講座、間部詮勝シンポジウム等)</li> </ul>
<p><b>3-1. 基礎学力の定着と体力の向上</b></p> <p>基礎学力の定着のために、児童の学習到達度を適切に把握し、つまづき解消のための指導の工夫・改善を行うとともに、ICT機器や新聞を活用した授業を推進し、一層の学力向上を目指します。また、学校体育の授業の充実と指導教員の資質向上を図り、児童生徒の体力の向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自作の市確認テストの実施 1回</li> <li>◆ ICT機器を活用した公開授業 全小中学校2回</li> <li>◆ 新聞を活用した授業の実施 全小中学校1回</li> <li>◆ 外部講師（アスリート）を派遣 全小中学校1回</li> <li>◆ <b>【新】</b>こども用パソコン（イチゴジャム）を活用したプログラミングの基礎実習の実施 小中学校4校</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>市独自の確認テストを実施し、児童の学習到達度の把握や指導の工夫・改善を行いました。また、ICT機器や新聞を活用した授業を推進し、学力向上に努めました。学校体育の授業内容充実と指導教員の資質向上を図るため、外部講師を派遣し、児童生徒の体力向上に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自作の市確認テストの実施 1回 [A]</li> <li>◆ ICT機器を活用した公開授業 全小中学校2回 [A]</li> <li>◆ 新聞を活用した授業の実施 全小中学校1回 [A]</li> <li>◆ 外部講師（アスリート）を派遣 全小中学校1回 [A]</li> <li>◆ <b>【新】</b>こども用パソコン（イチゴジャム）を活用したプログラミングの基礎実習の実施 小中学校4校 [A]</li> </ul>

<取組項目> □ □	<取組結果>
<p><b>3-2 食育の推進</b></p> <p>子どもたちの健全な心身の成長のため、食育を教育の基盤として位置づけ、その推進に努めるとともに、食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により各小学校の学校給食畑の活用を図りながら、地場産（鯖江産）野菜等の使用率の向上を目指します。また、体力づくりや健康を意識して学校給食を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 朝食摂取率 100%</li> <li>◆ 【新】学校給食の食育月間（6月・11月）における市内産食材平均使用率 30%</li> <li>◆ ミニ地場産デー・アイアンの日・歯っぴーの日（8月除く毎月1回） 全幼小学校 11回</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>子どもたちの健全な心身の成長のため、食育の推進に努めました。食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により各小学校の学校給食畑の活用を図りながら、地場産（鯖江産）野菜の摂取理解に努めました。また、健康な体づくりを意識した学校給食の提供に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 朝食摂取率 98% [A]</li> <li>◆ 【新】学校給食の食育月間（6月・11月）における市内産食材平均使用率 28% [B]</li> <li>◆ ミニ地場産デー・アイアンの日・歯っぴーの日（8月除く毎月1回） 全幼小学校 11回 [A]</li> </ul>
<p><b>4. 幼児教育の充実</b></p> <p>異年齢集団での遊びを通して、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の基礎を培いつつ、健康な体づくりに努めます。また、小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実を努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 園内異年齢（縦割り）交流活動の実施 各園 2回</li> <li>◆ 幼稚園と小学校の交流事業 各園 10回</li> <li>◆ 園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園 10回</li> <li>◆ 【新】全幼稚園でのスタートアプローチカリキュラムの実施 6園</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>異年齢集団での活動を通して、基本的な生活習慣の定着、社会性、道徳性の基礎の育成、健康な体づくりに努めました。また、小学校への移行を円滑にするため、幼稚園と小学校の交流活動を積極的に実施しました。さらに、地域に開かれた園として子育て支援活動に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 園内異年齢（縦割り）交流活動の実施 各園 2回 [A]</li> <li>◆ 幼稚園と小学校の交流事業 各園 30回 [A]</li> <li>◆ 園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園 12回 [A]</li> <li>◆ 【新】全幼稚園でのスタートアプローチカリキュラムの実施 6園 [A]</li> </ul>
<p><b>5-1. 地域の教育力の向上</b></p> <p>地域の小学生を対象に地域住民と子どもたちの交流を通して公民館等で合宿通学事業を行うことにより、地域の子どもは地域で育てるという意識の醸成や地域の教育力の向上を図ります。また、子どもたちが郷土に誇りと愛着を持てるよう、ふるさと学習への取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公民館合宿通学事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの参加者数 430人</li> <li>・ボランティアの参加者数 1,300人</li> </ul> </li> <li>◆ 【新】地域でのふるさと学習事業の開催数（地区公民館） 10回&lt;再掲&gt;</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>地区合宿通学事業は、8地区で実施しました。企画から運営に多くの地域住民が参加し、子ども達を育む活動によって、本来の目的は達成できました。子どもたちが郷土に誇りと愛着を持てるよう、ふるさと学習を10地区で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公民館合宿通学事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの参加者数 422人 [A]</li> <li>・ボランティアの参加者数 1,388人 [A]</li> </ul> </li> <li>◆ 【新】地域でのふるさと学習事業の開催数（地区公民館） 19回&lt;再掲&gt; [A]</li> </ul>
<p><b>5-2. 地域における青年活動の推進</b></p> <p>各地区公民館で開催する青年講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深めるとともに、地域の活性化やまちづくりにつながるよう、地域における青年活動の活性化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域青年交流事業の開催 1,000人</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>各地区における青年層の組織化が進んでおり、地区体育大会をはじめ地区のイベントや青年層の交流事業への参加者が増え、地域における青年層の相互理解、地域理解につながりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域青年交流事業の開催 1,062人 [A]</li> </ul>
<p><b>6. 高年大学の活性化</b></p> <p>健康長寿および社会貢献を目的として、カリキュラムを充実するとともに、大学の活動を地域の諸活動と連携するため、まちなか授業や課外授業などを「市民公開講座」として開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 健康・体育関連授業の開催 60回</li> <li>◆ 社会貢献関連授業の開催 18回</li> <li>◆ 【新】IT推進講座 8回 300人</li> <li>◆ 公開講座の開催 20講座 600人</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>健康長寿および社会貢献を目的として、カリキュラムを充実するとともに、大学の活動を地域の諸活動と連携するため、まちなか授業や課外授業および特別講座などを「市民公開講座」として開催しました。受講生全員による西山公園などでのゴミ拾いをするなどの地域貢献の実践につながりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 健康・体育関連授業の開催 66回 [A]</li> <li>◆ 社会貢献関連授業の開催 22回 [A]</li> <li>◆ 【新】IT推進講座 9回 366人 [A]</li> <li>◆ 公開講座の開催 24講座 820人 [A]</li> </ul>

<取組項目> □ □ 	<取組結果>
<p><b>7-1. 文化財の調査、保存、啓発の推進</b></p> <p>古墳群をはじめとする貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるとともに、優れた伝統芸能や技術を継承する市民・団体の文化財指定も進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進します。また、市内の文化遺産や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業を開催します。</p> <p>◆ 国・県・市指定文化財の新規登録数 5箇所 ◆ まちかど歴史浪漫コンサートの入場者数 300人 ◆ 古墳見学会、現地説明会、出前講座の参加者数 100人</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるための文化財指定を進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進しました。また、市内の文化遺産や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業として、出前講座・文化財説明会を開催し、多数の参加者を得ました。</p> <p>◆ 国・県・市指定文化財の新規登録数 6箇所[A] ◆ まちかど歴史浪漫コンサートの入場者数 300人[A] ◆ 古墳見学会、現地説明会、出前講座の参加者数 165人[A]</p>
<p><b>7-2. 文化活動への参加と、豊かな心を育む文化のまちの推進</b></p> <p>郷土の歴史・伝統・文化に身近に触れることにより、自信と誇りの持てるまちを創造するとともに、市民や子どもたちの郷土に対する愛着心の醸成を図りふるさと学習の推進に努めます。</p> <p>◆ 鯖江市美術展の開催 出品数 450点 来場者数 10,000人 気軽にアート展出品数 3,000点 ◆ 【新】ふるさと学習の参加者数 800人&lt;再掲&gt; (芸術文化体験事業、ふるさとさばえ検定、ふるさとさばえキッズ検定、近松入門講座、間部詮勝シンポジウム等)</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>地域に対する愛着と誇りを継承して活性化を図り、夢を持てるまちづくりを推進し、子どもたちが様々な文化芸術に触れるとともに自らが主体的に取り組み、子どもの時から豊かな感性や表現力、創造性を育むことができるよう、文化芸術に直接触れる機会の充実に努めました。</p> <p>◆ 鯖江市美術展の開催 出品数 412点 来場者数 8,400人[B] 気軽にアート展出品数 4,583点[A] ◆ 【新】ふるさと学習の参加者数 1,033人&lt;再掲&gt;[A] (芸術文化体験事業、ふるさとさばえ検定、ふるさとさばえキッズ検定、近松入門講座、間部詮勝シンポジウム等)</p>
<p><b>7-3. まなべの館を活用した文化活動への参加と、文化に触れる機会の提供</b></p> <p>登録博物館であるまなべの館を活用して、市民が、広く文化芸術に触れて、鑑賞・参加・創造することができる機会の提供を図ります。</p> <p>◆ 【新】まなべの館リニューアル5周年記念企画展 開催事業来場者数 合計 2,500人 ・ 【新】アニメーション王国さばえ (2,000人) - 時代の先駆者 アバンギャルドなアーティスト 久里洋二 - ・ 【新】春爛漫リレー展 (500人) ◆ まなべの館創造空間事業 (貸館事業) 12,000人</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>広く文化芸術に触れ、鑑賞・参加・創造することができる機会や場を創出する事業を展開し、市民の文化意識と郷土に対する愛着心の高揚に努め、まなべの館の有効活用と企画展・常設展の充実に努めました。</p> <p>◆ 【新】まなべの館リニューアル5周年記念企画展 開催事業来場者数 合計 5,086人[A] ・ 【新】アニメーション王国さばえ (3,000人) - 時代の先駆者 アバンギャルドなアーティスト 久里洋二 - ・ 【新】春爛漫リレー展 (2,086人) ◆ まなべの館創造空間事業 (貸館事業) 15,500人[A]</p>
<p><b>8-1. 青少年がスポーツに親しむ環境づくりの推進</b></p> <p>青少年の心身の健全な発育・発達を願い、生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、(一社)鯖江市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など、各種スポーツ団体が連携、協働して、地域全体でスポーツ活動を行う環境づくりに努めます。また、小学生においては、学校と各種スポーツ団体とが連携して、スポーツ少年団やスポーツクラブへの一層の加入促進を目指します。</p> <p>◆ スポーツクラブ会員数 2,300人 ◆ 小学生のスポーツ少年団およびスポーツクラブの加入率 33.0%</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>(一社)鯖江市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、市教育委員会で組織する「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じて、スポーツ団体の連携強化を図りました。3つの総合型スポーツクラブの合同パンフレットを作成し、会員の加入促進を図りました。</p> <p>◆ スポーツクラブ会員数 2,145人[B] ◆ 小学生のスポーツ少年団およびスポーツクラブの加入率 34.0%[A]</p>

<取組項目>	<取組結果>
<p><b>8-2. 市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進</b></p> <p>鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ教室やスポーツイベントの開催を通じて元気と活力あふれるまちづくりを目指します。また、高齢者・障がい者向けのスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員やスポーツ指導者と連携しながら、誰もがスポーツを続けられる社会を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 10回 1,000人</li> <li>◆ 健康教室、ニュースポーツ教室・スポーツ交流事業 40回 1,500人</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>スポーツ推進委員による出前講座やニュースポーツ教室、市民主役事業のリスタートルック事業による健康教室の開催など、市体育協会、総合型地域スポーツクラブと連携し、子供から高齢者まで、誰もがスポーツに取り組みきっかけづくりとなるよう取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 28回 677人[B]</li> <li>◆ 健康教室、ニュースポーツ教室・スポーツ交流事業 62回 943人[B]</li> </ul>
<p><b>8-3. 全市的な国民体育大会開催の推進</b></p> <p>第73回国民体育大会、第18回全国障害者スポーツ大会を成功に導くため、市民、各種関係団体の協力を得ながら、開催準備に万全を期し、市民が喜びと感動を共有できる魅力ある大会になるよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 【新】平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会鯖江市実行委員会の設置 11月</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>11月17日に鯖江市準備委員会を実行委員会に組織替えするとともに、総務企画、競技式典、宿泊衛星、輸送交通警備の4つの専門委員会を立上げて要項等の策定などに取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 【新】平成30年「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会鯖江市実行委員会の設置 11月[A]</li> </ul>
<p><b>9-1. 文化の館における図書資料の充実</b></p> <p>市民の知的財産である図書資料の充実を図り、多様化する市民の求める資料に応えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 【新】図書館の入館者数 30万人</li> <li>◆ 図書の貸し出し冊数 50万冊</li> <li>◆ 【新】ビジネス支援図書の貸出冊数 2,400冊</li> <li>◆ 図書リクエストへの対応率 90%</li> <li>◆ 【新】レファレンス（利用者からの資料・文献等の相談）への対応率 100%</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>多様化する市民の求める資料の提供として、図書リクエストとレファレンスへの対応を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 【新】図書館の入館者数 28万人[B]</li> <li>◆ 図書の貸し出し冊数 42万冊[B]</li> <li>◆ 【新】ビジネス支援図書の貸出冊数 2,769冊[A]</li> <li>◆ 図書リクエストへの対応率 97.5%[A]</li> <li>◆ 【新】レファレンス（利用者からの資料・文献等の相談）への対応率 100%[A]</li> </ul>
<p><b>9-2. 市民との協働事業の推進</b></p> <p>市民との協働事業として様々な分野で活躍している人を講師に招き、気楽な雰囲気の中で学ぶサロンを開催し、市民に知識や教養を深める場を提供します。また、地元の演奏家などを招いてコンサートを開催し、演奏家に発表の場を提供するとともに、音楽のある生活の豊かさを推奨します。また、市民協働パイロット事業「えきライブラリー」への連携支援を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「ライブラリーカフェ」 12回 500人</li> <li>◆ 「カフェコンサート」 2回 200人</li> <li>◆ 【新】「えきライブラリー」の貸し出し冊数 1,200冊</li> <li>◆ 【新】「えきライブラリー」の返却冊数 1,800冊</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>市民との協働事業として「ライブラリーカフェ」「カフェコンサート」は11年継続して実施し、市民に知識や教養を深める場を提供しました。市民協働パイロット事業「えきライブラリー」の図書貸出・返却冊数は少ない利用となっておりますが「えきライブラリー」のニーズを調査し、利用率を高めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「ライブラリーカフェ」 11回 598人[B]</li> <li>◆ 「カフェコンサート」 2回 287人[A]</li> <li>◆ 【新】「えきライブラリー」の貸し出し冊数 965冊[B]</li> <li>◆ 【新】「えきライブラリー」の返却冊数 1,322冊[C]</li> </ul>
<p><b>9-3. 子どもの読書活動支援の推進</b></p> <p>未来を担う子どもたちの心を培うため、対象年齢別に子どもの読書支援イベントを実施します。学校、家庭、地域と連携協働を図り「学校図書館支援センター」を核として、学校図書ボランティアの育成に努めて、子どもの読書活動支援を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ こどもの読書支援イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵本とよちよち1・2・3」 12回 参加者数 180人</li> </ul> </li> <li>◆ 学校図書館支援センター事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館司書の日」の実施 全小学校 各15回</li> <li>・こども読書感想文講座の実施 1回 参加者数 60人</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>未来を担う子どもたちの心を培うため、対象年齢別に子どもの読書支援イベントを実施しました。学校、家庭、地域と連携協働を図り学校図書館支援を進めました。こども読書感想文講座は多くの参加を得、学校図書館研究部の教員との連携も図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ こどもの読書支援イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵本とよちよち1・2・3」 12回 参加者数 202人[A]</li> </ul> </li> <li>◆ 学校図書館支援センター事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館司書の日」の実施 全小学校 各17回[A]</li> <li>・こども読書感想文講座の実施 1回 参加者数110人[A]</li> </ul> </li> </ul>